

**市営アパートの建設について
ボート場の建て替えについて**

恒石議員

(1)市営アパート建設について
黒木地区の過疎化の解決や黒木小学校の児童の増員等を図るため、黒木小学校校区に試験的に市営アパートを建設することを以前から提案してきたが、3月議会において市長は検討すると答弁した。その後の進捗はどうなっているか。

(2)ボート場の建て替えについて
ボート場付近の一角は、大村公園、県教育センター、陸上競技場、梶山御殿、竜神島などがあり、教育や市民の憩いの場である。しかし、ボート開催時にはこれらの施設を利用する市民に迷惑がか

市長(1) 黒木地区のような中山間地域への市営住宅の建設については、大いに関心を持っており、現在、市民の声、場所、規模、戸数などを含めて今鋭意調査・研究を続けている。本年度3月までをめどに、市民ニーズを踏まえて、ある程度の方向

かっている。経済面での

必要性は理解できるが、教育や周辺環境などを考えると問題があると思われる。そのような中、2〜3年後に施設を建て替える話が出ているが、この際、別の場所に移設する考えはないのか。また、移設先としては、発電所跡地や黒丸海岸あたりを検討できないか。一度現在の場所に建て替えてしまえば何十年と続く。唐津をはじめ全国のボート場は近隣住民や景観に悪影響を与えないようにいち早く移設している。教育のまち大村、もっとも住みたくなるまち大村を目指すなら移設するべきである。

市長(2) 議員の発想に非常に示せるように引き続き努力していきたいと思う。

性がある。私も以前、全面建替をするときには、別のところで展開するもの一つの手であるという発

想は持った。これが10年先での計画ならいいが、耐震化の問題があり、ここ2、3年で取りかかろうとする中においては、無理ではないかと考えている。開設までには、地元の同意取得、用地買収、移転補償、施設整備など、膨大な費用と相当の期間が必要となることは明らかである。したがって、現在の場所に建設することがベストだと考えており、ご理解をいただきたい。

競艇事業管理者(2)

施設を移転するには200億円はかかる。そのような背伸びした計画を作れば、極めて厳しく、心配を抱えながらの運営になると判断している。



大村競艇場

**公平な歳入確保により、
新たな財源確保を図っていきます**

園田議員

(1)これまで、市内の団体に対し市有地を無償貸与しているという問題について、公平性の観点から、有償化または売却により徹底的に整理するべきであるということを繰り返し提言してきた。これにより、昨年度末には、有償化または売却が図られ、370万円の新たな歳入確保を果たすことにつながったと確信している。この問題に象徴されるように、本来は公平な判断により有償化すべき普通財産を、いわゆる事業仕分けの発想に乏し

く、昔の名残をそのままにしている実情が多くある。同様のケースにある残り9団体に對しても、以前からの契約内容を、税の公平性と現在の施設運営状況により再度見直し、貸与している土地・建物を有償化または売却へ進めていくべきである。平成20年3月議会の質問時からの進捗状況と合わせて答弁を求める。

また、財政健全化計画や歳入確保対策の見直しの中で、これらのケースにおける見直しを図り、市有財産の有償化を明記するべきである。

財政部長(1) 市としての方針を明確に決定するまでには至っていないが、内部的には、ある程度詰めており、平成23年度の実現に向けて、有償化を進めていくという方向性は確認している。

市長(1) 無償貸与については当時の社会情勢から意義があったが、時代が変わり、現在は行財政改革、財政健全化に取り組んで

いる中で、公平性という観点もあり、平成23年度から取り組んでいこうと考えている。平成22年度中に当該施設などのある程度の協議、説明などを経て、23年度から2年〜3年の間に実行する方向で進めていきたいと思

財政部長(1) 現行の歳入確保方針については、基本的に不要不急の財産等の

処分などについて掲げている。財政健全化計画の見直しについては、基本的に一つ一つの項目についてどこまで踏み込んで明記していくかということを現段階では申し上げられない。ただし、方向性として早急に取り組むという部分については進めていきたいと考えている。

(その他の質問事項)

- ・総合的な自殺対策について
- ・不登校対策の実績について
- ・厚労省により検討が進められている子宮頸がんをはじめとする、3種(水ぼうそう、細菌性髄膜炎、肺炎球菌ワクチン)ワクチン接種に対しての公費補助を提案する

